

事務事業評価シート(平成22年度)

(ソフト事業)

(A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>		担当課	課長名	記入者
		こども未来 課	越川昌信	浦川和弘
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
学童保育事業		新規	年度	年度
		○ 継続	○ H20以前	○ 未定
事務事業の体系				
計画掲載	多可町総合計画	(章) 2 笑顔でつつむ、あったかいまち	(節) 1 のびのび育とう、育てよう	
	(基本計画)「子育てするならこの町」といえるまちをめざす			
個別計画		多可町次世代育成支援対策推進行動計		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分(該当する区分に「○」)		
多可町学童保育事業実施要綱		○ ソフト事業	施設の維持管理	
		義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		建設・整備事業	計画などの策定	
(1) 放課後児童の健康管理、安全確保及び情緒の安定、(2) 遊びの活動への意欲及び態度の形成、(3) 遊びを通しての自主性、社会性及び創造性を培うこと。(4) 放課後児童の遊びの活動状況の把握及び家庭への連絡、(5) 家庭又は地域での遊びの環境づくりへの支援、(6) その他放課後指導の健全育成上必要な活動		補助金の支給	有 ○ 無	
		委託	全部委託 一 部委託	
		○ 委託なし(全部直営)		

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象 (働きかける相手・誰が・もの)	受益者 (誰を・何を)	意図 (どういう状態にしたいのか)
町内の小学校に就学する1年生から3年生までの児童で、保護者等が就労等により、昼間において留守になる世帯等	学童保育を利用する世帯	授業の終了後に、適切な遊び及び生活の場を通じて児童の健全育成を図る

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>				会計名	一般	会計
細目名	南小学校学童保育事業	細目名	北小学校学童保育事業	細目名	松井っ子クラブ事業	
予算コード	3 2 6 1	予算コード	3 2 6 2	予算コード	3 2 6 6	
細目名	杉っ子会館運営事業	細目名	八千代わんぱくクラブ事業	細目名	学童保育事業	
予算コード	3 2 6 3	予算コード	3 2 6 4	予算コード	3 2 6 8	

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>						
事務事業・人員		単位	21年度 決算	22年度 実績(見込)	23年度 計画	備考 (全体事業費など)
総コスト			33,705	34,760	39,446	
コストの内訳	直接事業費	千円	1,398	2,062	4,061	
	所属内間接費		0	0	0	
	人件費		32,307	32,698	35,385	
	投入人員	正職員	人/年	0.750	0.600	0.600
	嘱託員		19.00	18.00	15.00	
財源内訳	国・県支出金	千円	10,086	7,566	9,996	
	地方債		0	0	0	
	その他特定財源		11,045	12,731	11,025	
	一般財源		12,574	14,463	18,425	

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>							
事務事業を構成する業務		手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単位	21年度 実績	22年度 予定	23年度 目標
1	学童保育業務	・保護者等が就労等により、昼間において留守になる世帯の児童に保育サービスを提供することで ・利用料の口座振替業務を行うこと	か所数	か所	5	5	5
2	学童保育の利用料収納業務		開所日数	日	291	293	292
3			指導員体制	人(体制)	19	19	15
4			利用料口座振替(依頼)件数	件	2077	2150	2262

(ソフト事業) (B面)

6 事務事業の実績 <Do③>		事務事業名 [学童保育事業]			
成果指標(意図の数値化)	単位	21年度 実績	22年度 予定(見込)	23 年度 目標	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
利用人数	人・月	2149	2235	2262	利用人数は月別利用人数の計
収納率	%	96.6	97.5	98	

7 事務事業の事後評価 <Check>				(ソフト事業)					
チェック項目				該当項目に「○」				担当の把握している課題	
必要性	需要への 対応性	住民ニーズは	○ 高い	高くない		把握なし	・保護者の就労意欲の高まりから利用児童が増加している。 ・反面、全体的な児童数が減少傾向にある。		
		緊急性は	○ 高い	高くない					
		利用者・対象者数は		増加	減少	○ 横ばい			
		他市町と比較して対象者に見直しの余地は	○ ない	ある		把握なし			
	町の関与の 必要性	民間の事業(サービス)との競合は	○ ない	ある					
国や県の事業(サービス)との重複は		○ ない	ある						
妥当性	サービス 水準の 妥当性	事業開始時から社会環境の変化は		ない	○ ある				
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は	○ ない	ある					
		他市町と比較してサービス水準の見直しの余地は	○ ない	ある		把握なし			
	連携の 可能性	他課で類似の事業は	○ ない	ある					
		他の事業と統合できる可能性は	○ ない	ある		あるが困難			
		民間や他の行政機関と連携できる可能性は	○ ない	ある		あるが困難			
		市民団体・ボランティアなどと協働できる余地は	○ ない	ある		あるが困難			
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	○ ない	ある					
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	○ ない	ある					
		サービス向上の観点から実施方法を見直す余地は	○ ない	ある					
		受益者負担を見直す余地は	○ ない	ある					
有効性	目標の 達成度	成果指標が明らかで	○ ある	ない					
		前年より成果が上がって		いる	いない	○ 横ばい			
	持続の 可能性	継続することによる効果は	○ 高い	高くない					
		世代間負担の公平性、社会的平等性が保たれて	○ いる	いない		測定困難			
		事業の休・廃止による住民への影響は	○ 大きい	大きくない					
市場化の 可能性	既に全部委託済		更なる委託化が可能である		委託化の余地があり		委託化は不可能		
	市場化テストの導入について検討する余地がある				市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性			1.改善の余地はない			○	2.改善の余地がややある		
			3.改善の余地が多い				4.抜本的な見直しが必要		

事務事業評価書

8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action>学童保育事業

職場からの意見(担当者)									
(課題の解決についての提案など) 必要に応じて指導員研修会を開催するほか、町外の研修にも積極的に参加することにより指導員研修を充実させ、より質の高い保育を提供できるようにしたい。									
担当課長評価									
(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) より質の高い保育をするために、指導員のスキルアップが必要である。研修事業に力を入れていきたい。 耐震化できていない施設が2施設あるため、安全安心な施設での保育を実現するため将来構想を練りたい。 3年生までの児童を受け入れてきたが、将来的には受け入れ幅の拡大を行いたい。									
所管評価	○	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3.内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7.終了・完了		内部評価	3
教育長評価									
(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 指導員の研修の充実。 中北小、中南小にこにこクラブの施設の将来構想を検討する。									
財政評価	○	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3.内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7.終了・完了			
評価委員コメント									
今後は現状を維持しつつ、さらなる事業改革を図りたい。									